

# 幼児・小学校教育 接続期カリキュラム



たつの市

## はじめに

平成29年3月に保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領の改訂により、幼児期から小学校・中学校・高等学校までの学校教育全体で育みたい資質・能力を「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」と明確化し、系統的に育むことになりました。

3歳児・4歳児・5歳児に関しては就園施設を問わず、5領域のねらい及び内容が統一されました。更に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が具体的に示され、それを小学校と共有することで保育所・幼稚園・認定こども園と小学校とのより円滑な接続が求められています。

幼児にとって遊びは重要な学習であり、小学校において子どもたちが学びに向かう大事な土台となります。

本カリキュラムが、本市の第2次総合計画に掲げる「ひとつづくりへの挑戦」の第一歩として様々な教育の現場で活用され、教育の連続性・一貫性について共通理解し、教育の質の向上が図られるとともに、未来を担うかけがいのない子どもたちが、集団教育の中で豊かな人間性を育み、創造力あふれる子どもに育つことを願っております。

最後に、本カリキュラムの策定にあたり、御協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

平成30年3月

たつの市

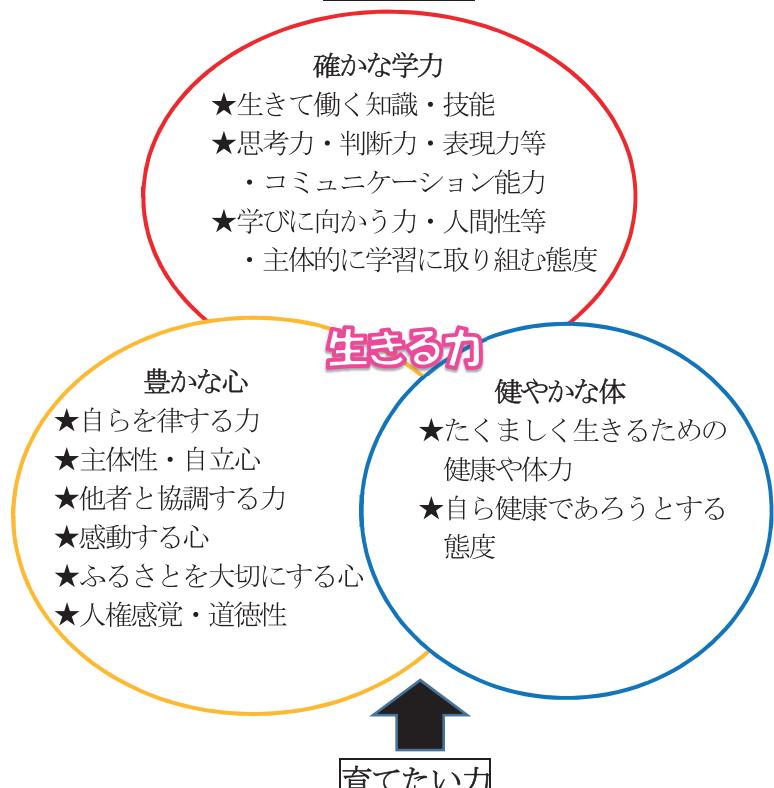
## たつの市の教育の基本理念

豊かな人間性を育み、創造力あふれる子どもを育てる

(第2次たつの市総合計画より)

<児童期>

自覺的な学び



幼児・小学校教育接続期カリキュラム

スタートカリキュラム  
(入学後、約2週間)

接続シート

<幼児期>

学びの芽生え



アプローチカリキュラム  
(主に5歳児のカリキュラム)

幼児・小学校教育接続期カリキュラムとは、アプローチカリキュラム及びスター

トカリキュラムを総合したものです。

#### ＜たつの市のアプローチカリキュラムについて＞

アプローチカリキュラムとは、幼児期における遊びの中の学びが、小学校の学習や生活に生かすことができるよう工夫された保育所・幼稚園・認定こども園の主に5歳児のカリキュラムです。

##### 幼児期 学びの芽生え

- ★「学ぶ」ことを意識しているわけではなく、楽しいことや好きなことに集中することを通して、様々なことを学んでいく。
- ★遊びを中心として、頭も心も体も動かして様々な対象と直接かかわりながら、総合的に学んでいく。
- ★日常生活の中で、様々な言葉や非言語によるコミュニケーションによって他者と関わり合う。

#### ＜たつの市のスタートカリキュラムについて＞

スタートカリキュラムとは、小学校に入学した子どもが、保育所・幼稚園・認定こども園などの遊びや生活を通しての学びや育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラムです。小学校生活のスタート時に、子どもは主体的な学び手であり、“ゼロからのスタートではない”と捉え、「学びの芽生え」から「自覚的学び」へつなぎます。

##### 児童期 自覚的学び

- ★「学ぶ」ことについての意識があり、集中する時間とそうでない時間（休息の時間等）の区別が付き、自分の課題解決に向けて、計画的に学んでいく。
- ★各教科等の学習内容について、授業を通して学んでいく。
- ★主に授業の中で、話したり聞いたり、読んだり書いたり、一緒に活動したりすることで他者とかかわり合う。

# アプローチカリキュラム

太字… 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

○ … 幼児の活動

☆ … 保育者の援助

☆信頼関係を築く。

☆十分に活動できる場所や時間を確保する。

☆保育者自身も喜んで体を動かす。

☆保育者も一緒にする。

☆自分で考え、最後までしようとする姿を見守る。

☆自分でできたという達成感や満足感が味わえるようにする。

自ら喜んで  
体を動かす

安心して自分を  
出す

見通しをもって  
生活をする

苦手なことに  
取り組む

時間を意識  
して生活する

個人やクラスで  
目標を決める

食べ物に関心を  
もつ

## 健康な心と体

遊具や用具の  
使い方が分かる

必要に応じて  
体を休める

着脱・排泄などを  
自分でする

繰り返し  
遊ぶ

自分がする  
べきことを  
自覚する

当番活動を  
する

所持品の片付けを  
する

## 自立心

☆じっくり遊べる時間を  
確保する。

☆思いを実現できるよう  
環境を整える。

☆答えを言わず、一緒に考  
えたり、幼児が考えられ  
るように問い合わせたり  
する。

☆幼児が思いを出し合う  
姿を静かに見守る。

☆幼児の気付きや発言を  
図や文字で表現する。

様々な素材や用具を使っ  
てかいたりつくったりする

友達が遊んで  
いる様子を見る

不思議に思つ  
たり感じたり  
する

## 思考力の芽生え

考えたことをいろ  
いろな方法で試す

気付く

予想する  
発見する  
考える



気が付いたこと・  
発見したことを  
話す

役割分担を  
する

友達のよさに  
気付く

自分の思いを  
相手に分か  
るように伝える

相談を  
する

遊びの振り  
返りをする

共通の目的に  
向かって友達と  
取り組む

## 協同性

ルールの  
ある遊びを  
する

友達の意見を  
聞く

## 言葉による 伝え合い

絵本や物語に  
親しむ

友達と遊ぶこと  
を楽しむ

友達の思いを  
受け入れよう  
とする

自分が経験した  
ことを話す

分からないことを  
尋ねる

☆幼児の思いが実現していくよう必要なものを用意  
する。

☆それぞれの思いを生かしながら方向付けをする。

☆一人の幼児が考えたことをみんなに知らせる。

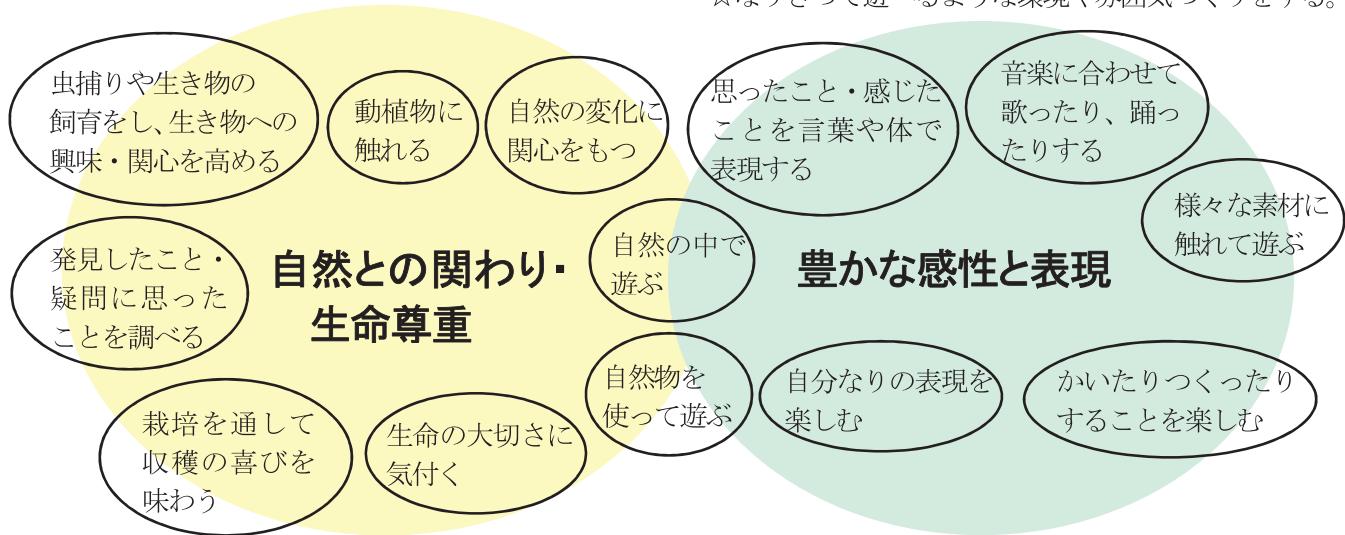
☆幼児の思いや話をしている姿を受け入れる。

☆話し合いのポイントをしっかり捉えておく。

☆言葉にならない幼児の思いを代弁する。

☆幼児の思いや気付きに共感する。

☆飼育物や生き物を大切に扱い、生命の大切さを伝えていく。  
☆自然の変化に気付けるような言葉掛けをする。



☆発達に応じた遊びを取り入れる。  
☆活動のプロセスなどをまとめて分かりやすく表示する。  
☆季節・興味・発達に応じた絵本や図鑑を用意する。

☆自分なりの表現をしている姿を受け入れる。  
☆幼児が感じたり、表現しようとしたりしていることと共感する。  
☆なりきって遊べるような環境や雰囲気づくりをする。

## 事例 ①

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿：（ 健康な心と体 ）

タイトル （ 竹馬に乗ってみよう ）

＜保育所・幼稚園・こども園の教育において育みたい資質・能力＞

資 質 ・ 能 力	子 ど も の 姿
知識及び技能の基礎	竹馬の乗り方が分かるようになる。
思考力、判断力、表現力等の基礎	友達の乗り方を真似たり、自分の体を動かしたりするようになる。
学びに向かう力、人間性等	自分の目標に向かって最後までやり遂げるようになる。

遊びの内容

子 ど も の 姿	10の姿
○参観日に親子で竹馬をつくり、興味をもつ。 ・自分から竹馬に挑戦する子、自分からは挑战认しようとしない子に分かれる。 「竹馬に乗ってみたい。」「乗るのが怖い。」「先生が支えてくれたら、乗れるかもしない。」「乗りたくない。」	
○どうすれば全員で挑戦できるか話し合う。 ・バランスよく乗れる子の話を聞く。 「乗る時に体を前に倒した方がいい。」「いきなり両足で乗らずに片足ずつ乗るのがいいと思う。」「頑張った日は、お帳面に赤いシールを貼ろう！」	⑨
○【竹馬頑張りカード】をつくり乗った日は赤いシールを1つ貼ることにする。	①②
○自分たちでプラカードをつくり、それをを目指す。 「少しだけ乗れた。」「壁をおしりでポンってしたら乗れるよ。」「すぐに足が痛くなる。」「足のマメは、『頑張ってる証拠』ってお母さんが言っていた。」	(目標を決めて取り組む)
○週末に家庭に持ち帰り、親子で取り組む。 「おじいちゃんにコツを教えてもらった。」「家で頑張った分も赤いシール貼りたい！」 「〇〇ちゃん、すごい！全然乗れなかつたのに乗れた！」 「運動会にはもっと高くして乗ろう！」	①②③⑨ (繰り返し遊ぶ)
○カードの作成・友達の励まし・家族の応援があり、自分から取り組もうとする姿が見られるようになった。	(自分から進んで取り組む)



幼児期の終わりまでに育てほしい姿			
①健康な心と体	②自立心	③協同性	④道徳性・規範意識の芽生え
⑤社会生活との関わり	⑥思考力の芽生え	⑦自然との関わり・生命尊重	
⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚		⑨言葉による伝え合い	
⑩豊かな感性と表現			

## 事例 ②

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿：（自立心）

タイトル（忍者修行頑張るぞ！）

＜保育所・幼稚園・こども園の教育において育みたい資質・能力＞

資質・能力	子どもの姿
知識及び技能の基礎	体の使い方が分かるようになる。
思考力、判断力、表現力等の基礎	他の子を見て自分の目標が決められるようになる。
学びに向かう力、人間性等	最後まであきらめずに取り組めるようになる。

遊びの内容

子どもの姿	10の姿
<ul style="list-style-type: none"> <li>年長組になり、うんていや登り棒などに挑戦したり、友達がしているのを見たりして、自分もやってみようとする気持ちが高まる。</li> <li>毎日、朝の用意が終わると忍者修行をする。 できた項目にシールを貼る。1日何種類してもいい。 (カードの中から今日することや内容を自分で決める。) (うんていの半分まで行く、登り棒の上まで登るなど) 「今日はうんていをいっぱいしよう。」 「うんていはできるから、登り棒がんばろう。」</li> <li>それぞれ自分で目標を決めて取り組む。 「初めて上まで登れた。」「○ちゃん、すごい。」</li> <li>友達の姿を見て、刺激を受けたり自然と互いに励まし合ったりしながら取り組んでいる。</li> </ul> <p>「鉄棒や一輪車もしたい。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修行カードに自分でやりたい項目を書き、取り組む。</li> </ul>	<p>①</p> <p>② (目標を決める)</p> <p>② (苦手なことにも挑戦する)</p> <p>(最後まであきらめずに取り組む)</p> <p>(満足感や達成感を味わう)</p> <p>② (新たな目標を決め、取り組む)</p>
	
	

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿			
①健康な心と体	②自立心	③協同性	④道徳性・規範意識の芽生え
⑤社会生活との関わり	⑥思考力の芽生え	⑦自然との関わり・生命尊重	⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
⑨言葉による伝え合い		⑩豊かな感性と表現	

### 事例 ③

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿：（協同性）

タイトル（バザーをしよう）

＜保育所・幼稚園・こども園の教育において育みたい資質・能力＞

資質・能力	子どもの姿
知識及び技能の基礎	役割分担やルールが分かるようになる。
思考力、判断力、表現力等の基礎	お客様が楽しく遊べる方法を考えられるようになる。
学びに向かう力、人間性等	共通の目的に向かって、みんなで話し合い取り組むようになる。

遊びの内容

子どもの姿	10の姿
<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスで話し合い、バザーのお店や担当を決める。</li> <li>意見を出し合いながら、品物（輪投げ）をつくる。 「輪投げをつくろう。」「何でつくる？」 「お祭りの時に輪投げをしたら数字がかいていた。」「1とか2ってかいていた！絵もかきたい。」</li> <li>お店ごとにルールを決める。（担当ごとに話し合う） 「輪投げは1回10個投げるはどうかな？」 「多いんじゃないかな。」</li> <li>実際に遊んでみて、投げる本数を決める。 「1回5個にしよう。」「みんな同じ場所から投げずに、小さい組は僕たちより前から投げたらいい。」「もっと小さい子は、もっと前から投げたらいい。」「輪投げをした人に折り紙をあげるのはどうかな。」「品物は何円にする？」</li> <li>お店の看板やお金をつくる。</li> <li>クラス活動や異年齢交流でバザーごっこを行い、感想や意見を出し合ってルールを見直す。</li> <li>バザー本番を迎える、お店屋さんやお客様になって遊ぶ。 「いっぱいお客様が来てくれて嬉しかった。」</li> </ul>	<p>③⑩ (友達のよさに気付く) (友達の思いを受け入れようとする) ③ (共通の目的に向かって友達と取り組む) (役割分担をする)</p> <p>③⑥⑧⑨ (友達の思いを受け入れようとする) ③④⑤⑩ (友達と遊ぶことを楽しむ)</p>

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿			
①健康な心と体	②自立心	③協同性	④道徳性・規範意識の芽生え
⑤社会生活との関わり	⑥思考力の芽生え	⑦自然との関わり・生命尊重	
⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚		⑨言葉による伝え合い	
⑩豊かな感性と表現			

## 事例 ④

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿：（道徳性・規範意識の芽生え）

タイトル（図書館にでかけるよ）

＜保育所・幼稚園・こども園の教育において育みたい資質・能力＞

資質・能力	子どもの姿
知識及び技能の基礎	交通ルールや公共施設での過ごし方が分かるようになる。
思考力、判断力、表現力等の基礎	してよいことと悪いことが分かり、考えながら行動できるようになる。
学びに向かう力、人間性等	友達と一緒に心地よく生活したり、遊びを楽しくしたりするために、友達と折り合いを付けながら、きまりを考えたり守ろうとしたりするようになる。

遊びの内容

子どもの姿	10の姿
<ul style="list-style-type: none"> <li>月1回、図書館に行き絵本に親しんでいる。</li> <li>事前に道路の歩き方、道の渡り方、公共施設での過ごし方などを話し合う。 「いろいろな人が使う場所だから、大きな声は出さない方がいい。」「走るのもダメやね。」「そうそう、そっと歩かないといけない。」「手提げカバンは振り回さないように持つて行く方がいい。」「貸出カードがなくなったら困るし、本も破れる。」</li> </ul>	⑤  
<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館で絵本を選び、借りる。 「お願いします」「ありがとうございました」と挨拶する。</li> <li>1人でじっくり絵本を見たり、友達と一緒に楽しんだりする。席に限りがあるため、座れないこともある。 「私も、座りたいんだけど…。」「え～…どうしよう。」「あっちに空いてるところない？」「ここが、いいんだもん…。」「僕の椅子と一緒に座る？」「いいの？ありがとう！」</li> </ul>	④⑥⑨ (してよいことと悪いことが分かる) ⑤  
<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本を片付ける。 「名前（背表紙）が見えるように置くんだよ。」「元あった棚へ絵本を片付けたり、背表紙や題名が見えるように片付けたりする大切さに気付く。」</li> </ul>	④ (みんなで使うものを大事にする)  
<ul style="list-style-type: none"> <li>園に戻り、図書館で過ごして感じたことを伝え合い、次回に期待感をもつ。 「大きい声で話をしたり、ちょっと走ったりしたんだ…。」「走ってる子に、ダメだよって教えてあげた。」「○○ちゃんが一緒に椅子に座らせててくれて、嬉しかった。」「借りた絵本に続きがあるから、次に行ったら借りたい。」</li> </ul>	④⑥⑨ (相手のことを考えて行動する)

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿			
①健康な心と体	②自立心	③協同性	④道徳性・規範意識の芽生え
⑤社会生活との関わり	⑥思考力の芽生え	⑦自然との関わり・生命尊重	
⑧数量や図形、文字や標識などへの関心・感覚		⑨言葉による伝え合い	
⑩豊かな感性と表現			

## 事例 ⑤

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿：（社会生活との関わり）

タイトル（地域交流 ビオトープへ行こう）

＜保育所・幼稚園・こども園の教育において育みたい資質・能力＞

資質・能力	子どもの姿
知識及び技能の基礎	地域に棲む生き物に気付くようになる。
思考力、判断力、表現力等の基礎	どんな所に生き物が棲んでいるか、どうしたら捕まえられるか考えるようになる。
学びに向かう力、人間性等	自分たちの地域のよさを感じられるようになる。

遊びの内容

子どもの姿	10の姿
○7年前から地域の方とビオトープでの生き物探しと一緒にし、今年も近くの幼稚園児や地域の方と参加することになった。 ・交流前に去年の経験を思い出し、4歳児に伝えている。 「小さいぶどう組さんの時に行った。」「網とバケツ持って行ったよ。」「前はザリガニがいた。」	⑨
○交流会当日 ・地域の方と水の中の生き物を探す。 「僕、こっちに来て。あそこにエビがいるよ。」「生き物を探す為に網やバケツが必要なことに気付く。」「この網ですくったら、魚やザリガニが捕まえられる。」「なかなか生き物が捕まえられないが諦めずに探している。」「やったー！ザリガニを見つけた！」 ・地域の方に網に入った生き物の名前を教えてもらう。 「おじちゃん、これ何て言う名前？」 「おっ！いいのを見つけたね。これはタガメって言うんやで。」「怖い口をしてるやろ。」「今はあまりいない生き物なんや。」	⑤ ⑦ (地域行事に参加する) ② ⑤⑨ (分からることを詳しい人に尋ねる)
	
	
	
	

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿			
①健康な心と体	②自立心	③協同性	④道徳性・規範意識の芽生え
⑤社会生活との関わり	⑥思考力の芽生え	⑦自然との関わり・生命尊重	
⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚			⑨言葉による伝え合い
⑩豊かな感性と表現			

## 事例 ⑥

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿：（思考力の芽生え）

タイトル（水が流れる道をつくろう）

<保育所・幼稚園・こども園の教育において育みたい資質・能力>

資質・能力	子どもの姿
知識及び技能の基礎	水は高い所から低い所へ流れることを知る。
思考力、判断力、表現力等の基礎	試したり考えたりしながら、繰り返し取り組めるようになる。
学びに向かう力、人間性等	身近にある様々な用具を使って、自分たちで工夫して遊べるようになる。

遊びの内容

子どもの姿	10の姿
<ul style="list-style-type: none"> <li>土山で雨どいや筒を使ってどうやって水を流そうかと考えている。 「水が流れるようにしたいな。」「どうしようかな？」</li> <li>雨どいや筒を用意する。 「そっちの方が長いからここに置いて。」「でも、次どうやって置く？」</li> <li>筒の長さの違いに気付き、置き方を考える。</li> <li>雨どいを続けて置きたいがうまく置けない。 「やっぱりこうしようかな？」</li> <li>他の子も協力し、新しい筒を用意する。</li> <li>途中で水を流しながらうまく流れるかを見る。 「これ置いたらどう？」</li> <li>自分の履いていたビーチサンダルも置いてみる。</li> <li>筒だけでなく身近にあるものを使えばいいことに気付く。 「それいいな。」「ここにも置いてみよう。」「それぞれで考えた水の流れる道ができあがる。」「できたから水を流してみよう。」「ちゃんと流れた。」「やったあ。」</li> <li>その後、砂場でも高さを考え、身近にある様々な用具を使って水の流れる道をつくって遊ぶ。 [スコップを入れていたバケツ] [砂場ワゴン]など</li> </ul>   	<p>⑥ (予想する)</p> <p>⑥・⑨ (試す) ⑥ (どうすればいいか考える) ③⑥⑨ (試す) (気付く)</p> <p>⑨ ③</p> <p>⑥ (様々な用具を使ってみる)</p>

幼児期の終わりまでに育てほしい姿			
①健康な心と体	②自立心	③協同性	④道徳性・規範意識の芽生え
⑤社会生活との関わり	⑥思考力の芽生え	⑦自然との関わり・生命尊重	
⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚		⑨言葉による伝え合い	
⑩豊かな感性と表現			

## 事例 ⑦

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿：（自然との関わり・生命尊重）

タイトル （カエルを見つけたよ）

＜保育所・幼稚園・こども園の教育において育みたい資質・能力＞

資質・能力	子どもの姿
知識及び技能の基礎	身近な生き物の飼い方を知る。
思考力、判断力、表現力等の基礎	自分で考えたことを調べたり、試したりするようになる。
学びに向かう力、人間性等	関わり方の失敗や間違いを乗り越えながら、命あるものをいたわり大切にしようとする気持ちをもつようになる。

遊びの内容

子どもの姿	10の姿
<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭の花壇でカエルを見つけ、飼育ケースで飼うことにする。 「水を入れないといけない。」「入れすぎ！」 「ほんとうや、おぼれてしまう。」 「カエルやから、泳げる。」 「本（図鑑）に飼い方がのっていた。」</li> <li>・カエルが鳴く様子を見て、親しみを感じる。 「わ、何か膨らんだ！」「かわいい声や。」 「明日は雨だ。」「あ、外でも鳴いている！」</li> </ul>	<p>⑦ (生き物を飼育し興味・関心を高める)</p> 
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図鑑を見て、水の量を調節したり餌について考えたりする。 「餌がいる。」「ミミズは？」「ハエが落ちていたけど、入れてみようか。」</li> <li>・入れるが、食べないことに気付く。 「食べないな。」「大きすぎるのかな。」 「死んでいるのはダメとちがうかな。」</li> <li>・しばらく保育室で飼育するが、餌がうまく与えられず、弱っているように感じる。 「元気がなくなってきた感じがする。」 「触ってもあんまり動かないし…。」 「逃がそうか？」「え～、置いておきたい。」 「でも死んでしまうよ。」</li> </ul>	<p>⑥⑦⑧⑨ (知っていることを友達に伝える) (図鑑で調べる) (予想する)</p> <p>⑦ (生命の大切さに気付く)</p> 
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物の飼育を通して、大きく成長したり、上手く育てられず命がなくなったりする経験を繰り返しながら、命のつながりや大切さを感じ取っている。</li> </ul>	

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿			
①健康な心と体	②自立心	③協同性	④道徳性・規範意識の芽生え
⑤社会生活との関わり	⑥思考力の芽生え	⑦自然との関わり・生命尊重	
⑧数量や図形、文字や標識などへの関心・感覚		⑨言葉による伝え合い	
⑩豊かな感性と表現			

## 事例 ⑧

幼児期の終わりまでに育つてほしい姿：（ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ）

タイトル（ サナギがいるよ！ ）

<保育所・幼稚園・こども園の教育において育みたい資質・能力>

資質・能力	子どもの姿
知識及び技能の基礎	絵や文字で自分の思いが伝えることができるようになる。
思考力、判断力、表現力等の基礎	相手に伝えるには、どのような内容にすればよいか考えられるようになる。
学びに向かう力、人間性等	文字などを使いながら、思ったことや考えたことを伝える楽しさが分かるようになる。

遊びの内容

子どもの姿	10の姿
・園舎の門の壁に何の虫か分からぬが、大きなサナギを発見する。 ・「ここにいたら風でとばされてしまう。」「誰か捕つてしまったらどうしよう。」と子どもたちが心配する。 ・チョウチョになるまでどうやって見守るか、子どもたちがそれぞれに意見を出し合う。 「触らずにそっとしておこう。」「静かにしないといけない。」「先生に言っておいたらいいのどちら？」 「お散歩の人が捕つてしまったらどうしよう？」 「看板みたいにかいて貼つたらどうかな？」 「ほんとうや！それがいい！」と看板をつくることに意見がまとまる。 ・何をかこうか相談して決める。 「サナギがいるよ！」「触らないでね！」「ここにいるよ！」などの意見が出る。 ・ひらがな表を見ながら1文字1文字真剣にかく姿が見られる。 ・文字だけだと小さい子が読めないので絵をかこうという意見が出た。周りにサナギの絵をかいたり、ここだよ！と分かるように矢印をかいたり、手の絵に×（バツ）をかいて触らないでと分かるようにしたりする。 ・貼り紙の通り、誰もサナギに触らなかつたので、サナギが無事チョウチョになった。 「これアゲハ蝶だった。」「黒アゲハや！」などと図鑑を見ながらチョウチョの種類を調べる。	 ⑦ ⑥⑨   ⑧ (看板で伝える)  ⑧ (自分たちの気持ちを文字や絵で表現する)  ⑧ (図鑑を見る)

幼児期の終わりまでに育つてほしい姿			
①健康な心と体	②自立心	③協同性	④道徳性・規範意識の芽生え
⑤社会生活との関わり	⑥思考力の芽生え	⑦自然との関わり・生命尊重	
⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚		⑨言葉による伝え合い	
⑩豊かな感性と表現			

## 事例 ⑨

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿：（ 言葉による伝え合い ）

タイトル （ 夏野菜を育てよう ）

＜保育所・幼稚園・こども園の教育において育みたい資質・能力＞

資質・能力	子どもの姿
知識及び技術の基礎	夏野菜を知り、野菜の育て方について知るようになる。
思考力、判断力、表現力等の基礎	考えたことや気付いたことを自分なりの言葉で表現しようとする。
学びに向かう力、人間性等	自分の思いを伝えると共に、相手の気持ちも受け入れられるようになる。

遊びの内容

子どもの姿	10の姿
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちが育てられる夏野菜にはどんなものがあるか考え、決める。 「トマト」「ピーマン」「キュウリ」「ナスビ」などの意見が出る。 (家族に聞いたり、図鑑で調べたりする。)</li> <li>たくさんの意見が出たが、クラスみんなで「トウモロコシ」を育てることに決める。</li> <li>本数に限りがある苗を誰が植えるか考える。 「じゃんけんで決めたらいい。」「お当番さんにしたらいい。」などの意見が出たが、当番のチーム毎にじゃんけんをして、勝ったチームが植えるということに決まる。</li> <li>育て方を調べ、当番のチーム毎に世話をする。 (家庭で聞く・図鑑で調べる) 「水はいっぱいあげないとけない。」「おじいちゃんが、ちょっとでいいって言ってた。」</li> <li>生長の過程で気付いたことをクラスで伝え合う。 「大きくなってる！」 「何かできる。」「トウモロコシや！」 「ここからトウモロコシできるって本にのっていた。」「ほんとうや。」など意見が出る。</li> <li>収穫を楽しみにしている。</li> </ul>	<p>⑨ (自分の意見を話す) (分からぬことを尋ねる) ⑨ (相談をする)</p> <p>⑦ ⑨ (友達の意見を聞く) (分かったことを伝える) (発見したこと・気付いたことを話す)</p>
 	

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿			
①健康な心と体	②自立心	③協同性	④道徳性・規範意識の芽生え
⑤社会生活とのかかわり	⑥思考力の芽生え	⑦自然との関わり・生命尊重	
⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚		⑨言葉による伝え合い	
⑩豊かな感性と表現			

## 事例 ⑩

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（ 豊かな感性と表現 ）

タイトル （ 楽しかったね、いちご狩り！ ）

<保育所・幼稚園・こども園の教育において育みたい資質・能力>

資質・能力	子どもの姿
知識及び技能の基礎	いちごに触れたり、味わったりして植物に関心をもつ。
思考力、判断力、表現力等の基礎	感じたことをかいたり、つくったりするようになる。
学びに向かう力、人間性等	相手を意識して活動に取り組む。

遊びの内容

子どもの姿	10の姿
<p>○いちご農園について話し合う。</p> <p>○いちご農園に園外保育に出かけ、いちごを探る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いちごの色、形、手触りに気付く。</li> <li>・大きいのを見つけたら、友達に知らせたり、あげたりする。</li> </ul> <p>「おいしい！ 大きいいちごや。」「少しピンクでも甘い。」「いい匂いがする。」「へタをちぎって上から食べた方がいいみたい。」「先の方が甘いってテレビで見たよ。」「食べたら種の音がチチチ聞こえた。」「お母さんの葉っぱから、たくさんつるが伸びているなあ。」「白い花の真ん中にいちごの赤ちゃんがいるよ。」「絵本のいちごは地面に生えていたのに、ここのは私たちの頭の上にある。」「葉っぱの下にまだまだ大きいいちごが隠れてる。」「ほんとうや、見つけた。」</p> <p>○後日、体験したことをかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんのいちごと人物をかく。</li> <li>・1つを大きくかく。</li> </ul> <p>「保育所のいちごの葉っぱは茶色だった。栄養がないのかな？」「黒やグレーのいちごは、腐ってるんや。」「お父さんやお母さんもいちご好きやから連れて行ってあげたかった。」「もう1回行きたいなー。」「おいしそうないちごが、いっぱいかけた。」</p> <p>○自分がかいた絵を見せたり、友達がかいた絵を見たりする。</p> <p>「○ちゃんのいちご、いちご畑のいちごみたいにおいしそう。」「大きいいちごがいっぱいかけた。」</p>	<p>⑤⑦⑩ (身近な自然に触れ、におい、形などに興味をもつ) ⑩ (思ったことを言葉で表現する)</p> <p>⑨⑩ (自分が経験したこと話を) (自分なりの表現を楽しむ) ⑩ (できあがった充実感を味わう)</p>
	
	

幼児期の終わりまでに育てほしい姿			
①健康な心と体	②自立心	③協同性	④道徳性・規範意識の芽生え
⑤社会生活との関わり	⑥思考力の芽生え	⑦自然との関わり・生命尊重	
⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚		⑨言葉による伝え合い	
⑩豊かな感性と表現			

# 平成 年度 たつの市 小学校への接続シート

園名(施設名) ( 名) ⇒ 小学校

## (1) 遊びを通しての総合的な指導

(「何ができるようになるか」を明確にし、生きる力を育むため、「どのように学ぶか」「何を学ぶか」等の学びの課程を大切にしていく。)

### ○知識及び技能の基礎

- ◇ 基本的な生活習慣や生活に必要な技能の獲得
- ◇ 様々な気付き、発見の喜び
- ◇ 日常生活に必要な言葉の理解 等

### ○思考力、判断力、表現力等の基礎

- ◇ 試行錯誤したり、工夫したりすること
- ◇ 比較、分類、確認すること
- ◇ 他の幼児の考えなどに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさ
- ◇ 言葉による表現、振り返り、次への見通し
- ◇ 表現する喜び、自分なりの表現 等

### ○学びに向かう力、人間性等

- ◇ 思いやり、相手の気持ちの受容、安定した情緒、自信
- ◇ 好奇心、探究心、目的の共有、協力
- ◇ 葛藤、自分への向き合い、折り合い
- ◇ 色・形・音等の美しさや面白さに対する感覚
- ◇ 自然現象や社会現象への関心 等



※「特に力を入れて取り組んだ」と思われる所に◎印をつけて下さい。

	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	印
1	健康な心と体	
2	自立心	
3	協同性	
4	道徳性・規範意識の芽生え	
5	社会生活との関わり	
6	思考力の芽生え	
7	自然との関わり・生命尊重	
8	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	
9	言葉による伝え合い	
10	豊かな感性と表現	

(2) 行事や活動での取り組み内容・事例など

※ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた園での具体的活動内容事例を記載して下さい。

取り組み内容・事例	幼児期の終わりまでに 育ってほしい姿

## 作成例

### 平成〇〇年度 たつの市 小学校への接続シート

園名(施設名) ○○ 園 ( ○名 ) ⇒ ○○ 小学校

#### (1) 遊びを通しての総合的な指導

(「何ができるようになるか」を明確にし、生きる力を育むため、「どのように学ぶか」「何を学ぶか」等の学びの課程を大切にしていく。)

##### ○知識及び技能の基礎

- ◇ 基本的な生活習慣や生活に必要な技能の獲得
- ◇ 様々な気付き、発見の喜び
- ◇ 日常生活に必要な言葉の理解 等

##### ○思考力、判断力、表現力等の基礎

- ◇ 試行錯誤したり、工夫したりすること
- ◇ 比較、分類、確認すること
- ◇ 他の児童の考えなどに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさ
- ◇ 言葉による表現、振り返り、次への見通し
- ◇ 表現する喜び、自分なりの表現 等

##### ○学びに向かう力、人間性等

- ◇ 思いやり、相手の気持ちの受容、安定した情緒、自信
- ◇ 好奇心、探究心、目的の共有、協力
- ◇ 葛藤、自分への向き合い、折り合い
- ◇ 色・形・音等の美しさや面白さに対する感覚
- ◇ 自然現象や社会現象への関心 等



※「特に力を入れて取り組んだ」と思われる所に◎印をつけて下さい。

	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	印
1	健康な心と体	
2	自立心	◎
3	協同性	
4	道徳性・規範意識の芽生え	
5	社会生活との関わり	◎
6	思考力の芽生え	
7	自然との関わり・生命尊重	
8	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	
9	言葉による伝え合い	◎
10	豊かな感性と表現	

## (2) 行事や活動での取り組み内容・事例など

※「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた園での具体的活動内容事例を記載して下さい。

取り組み内容・事例	幼児期の終わりまでに 育てほしい姿
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道を自分たちでかいて遊ぶ。</li> <li>・花びらを使った色水遊びから     ジュース屋さんごっこ     ↓     メニュー表や看板をつくる。     どの花で何色ができるかを知る。</li> <li>・自分たちで考えつくった場で遊ぶ。     (わくわくランドの制作・レース遊び)     車や道、レース場を牛乳パックや廃材を使って     つくる。</li> </ul>	 
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保交流「触れ合い遊び」（5月）</li> <li>・花祭りの参加（5月）</li> <li>・3年生と田植え体験（6月）</li> <li>・地域の方の指導でヨガ教室（年間6回程度）</li> <li>・ペタンク同好会の方との七夕会交流（7月）</li> <li>・小学1年生・5年生との交流</li> <li>・3年生と稻刈り体験（10月）</li> <li>・地域の方と寺での座禅・抹茶体験（12月）</li> <li>・英語で遊ぼう（月1回）・論語教室（年長月1回）</li> <li>・絵本の読み聞かせ（ボランティアの方）（月3回）</li> </ul>	 
<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びや生活の中で見付けた虫などの名前を話し合ったり、図鑑で調べたりする。（ヤゴ・セミの抜け殻など）</li> <li>・2人組での話し合い     工夫したところ、     難しかったところなどを     お互いに話す。</li> <li>・全体での伝え合い     全体で、自分の思いや質問などを話し合う。</li> </ul>	  

# 【たつの市】小学校 スタートカリキュラム

揖龍地区小学校生活総合部会

目的： 幼稚期の終わりまでに育ってほしい姿を意識し、1年生がスムーズに小学校生活に入ること  
がきることのできるカリキュラムを作成する。

方法： スケジュールシートの内容欄に下記の番号を当てはめて、スタートカリキュラムをつくる。

4月（　）日（　）曜日			※スケジュールシートは、期間を決め、各校で作成すること												
時間	1時間目			2時間目			3時間目			4時間目			5時間目		
	0～15	15～30	30～45	0～15	15～30	30～45	0～15	15～30	30～45	0～15	15～30	30～45	0～15	15～30	30～45
内容															
目標															

・・・・・スタートカリキュラム内容 厳選30・・・・・

※写真や図が生活科教科書にあれば、利用しよう。

## 【I 返事やあいさつに関すること】

番号	項目	先生の声かけの例
①	返事、あいさつ【道徳】	○気持ちのよいあいさつは、どんなあいさつかな。 ○声のものさしに気を付けるといいね。(図を示して)
②	言葉づかい【道徳】	○みんなの前で発表するとき、どんなことに気を付けるかな。
③	職員室や保健室の入り方【道徳】	○幼稚園、保育所、こども園では、どのように先生の部屋に入っていたかな。

## 【II やくそくに関すること】

番号	項目	先生の声かけの例
④	いすのすわり方【道徳】	○写真と同じように正しいすわり方をまねしてみよう。
⑤	机やロッカーの使い方【道徳】	○どちらの写真がいいかな。(良い例と悪い例を見せながら) ○どんな入れ方はきれいかな。
⑥	廊下、階段の使い方【道徳】	○右側を歩くかな、左側を歩くかな。
⑦	トイレの使い方【道徳】	○みんなが気持ちよく使うためにはどうすればいいかな。 ○立つ場所は、どこに立つといいかな。 ○流さなかつたらどうなるかな。 ○スリッパのそろえ方はどちらがいいかな。(写真で示して)
⑧	くつ箱の使い方【道徳】	○幼稚園、保育所、こども園では、どんな入れ方をしていたかな。 ○くつの入れ方はどちらがいいかな。(写真で示して)
⑨	かさ置き場【道徳】	○かさ置き場の使い方はどちらがいいかな。(写真で示して)

番号	項目	先生の声かけの例
⑩	手洗い・うがい【自】	○幼稚園、保育所、こども園では、どのようにしていたかな。
⑪	そうじの仕方【自思】	○ほうきの使い方で気を付けることは何かな。 ○ぞうきんの使い方で気を付けることは何かな。
⑫	宿題、提出物の出し方【自】	○どのようにおいでいるかな。(写真で示して)
⑬	配布物の片付け方【自】	○どちらが正しいかな。(連絡袋に入れる写真とそうでない写真で)
⑭	体操服の着替え【自】	○脱いだ服はどうするかな。
⑮	発表の仕方【自】	○発表するとき、どんなことに気を付けるかな。
⑯	えんぴつの持ち方【数】	○写真と同じように正しい持ち方をまねしてみよう。
⑰	遊具の使い方【道】	○幼稚園、保育所、こども園のときはどんな約束があったかな。
⑱	図書室の使い方【道】	○図書室を使うとき、どんなことに気を付けるかな。
⑲	チャイムの合図【道】	○今のチャイムは、始まりの合図かな、終わりの合図かな。 ○始まりのチャイムが鳴ると、どうすればよいかな。
⑳	登下校【道・意】	○気持ちのよいあいさつって、どんなあいさつかな。 ○交通安全に気を付けることは何かな。

### 【III 学習活動に関すること】

番号	項目	先生の声かけの例
㉑	並び方【道】	○幼稚園、保育所、こども園では、どんな順番に並んだかな。 「背の順」かな。「名前の順」かな。
㉒	手遊び【感】	○幼稚園、保育所、こども園ではどんな手遊びをしたかな。 ○前に出てやってくれる人はいませんか。
㉓	なぞり書き【数】	○上手になぞることができるかな。
㉔	歌遊び【感】	○幼稚園、保育所、こども園ではどんな歌を歌ったかな。
㉕	数遊び【数】	○友だちの人数を数えてみよう。
㉖	名前書き【数】	○ていねいに書けるかな。
㉗	校庭探検【道・意・言】	○幼稚園、保育所、こども園ではどんなルールがあったかな。 ○校庭探検の約束を決めよう。
㉘	給食【道】	○幼稚園、保育所、こども園での給食や弁当はどのように準備していたかな。
㉙	朝の会、終わりの会【道・道】	○朝の会や終わりの会の約束を決めよう。
㉚	学習の意義【学びに向かう力】	○なぜ、勉強するのかな。 ○なぜ、学校に行くのかな。

### 【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】

自立心 協同性 社会生活との関わり 思考力の芽生え 言葉による伝え合い 感 豊かな感性と表現

数 数量・図形・文字への関心・感覚 生 自然との関わり・生命尊重 道 道徳性・規範意識の芽生え 健 健康な体

## 単元名 「なつだ！いつしょにあそぼう」



### 単元の概要

11名の子どもたちが夏をもっと楽しむために、小グループに分かれ、「しゃぼん玉」「水でっぽう」「砂場」での遊びを計画した。遊びを工夫する過程で、隣接する幼稚園の4歳児、5歳児に伝えたいという思いや願いが高まった。以下、「しゃぼん玉」グループの様子を取り上げ、紹介する。

#### 子どもたちの思いや願い

「おおきなしゃぼんだまをつくることをつたえたいな。」「くちでふかないでできることをつたえたいな。」

#### 教師の思い

- 幼稚園からの接続シートから「言葉による伝え合い」に力を入れてきたことが分かったので、さらにその力を伸ばすため、子どもたちの言葉で説明させたい。
- 幼稚園での学びを生かし、工夫点以外にもルールや安全面等についても主体的に考えさせたい。

#### 話し合いの様子

##### 【あんぜんについて】

「ともだちのかおのちかくでしない。」「まわりをみてする。」「ストローをぎやくにつかわない。」

##### 【なかよくあそぶことについて】

「やさしくする。」「ゆづる。」

#### 教師による子どもたちの見とり

- ストローにしるしをつけたり、きりこみをいれたりする考えは、幼稚園での経験が生かされているね。
- 幼稚園の子が遊びやすいように相手の立場を考えたルールを考えているね。

#### 活動の様子

- ハンガーやメガホンを使って、大きなしゃぼん玉を作る。
- 上手にしゃぼん玉を作ることができない幼稚園の子に優しく教えていた。

#### 教師による子どもたちの見とり

- 身の回りにある道具を使ってしゃぼん玉遊びをしようとするところが工夫だね。
- 画用紙にまとめた説明の仕方が具体的で分かりやすいね。



#### 授業の振り返り

幼稚園からの接続シートを意識しておくことで、子どもたちが主体的に考えたり、人と関わったりする過程での良さに気付きやすくなり、褒めたり認めたりする機会が増えた。

**接続期カリキュラム検討委員会名簿**

年度	構成	所属	職名	氏名
平成28年度	実践協力校園	学識経験者 兵庫教育大学大学院	准教授	鈴木正敏
		たつの市立龍野保育所	保育士	篠津康子
		社会福祉法人栗栖の荘 香島保育園	保育士	小林智子
		たつの市立新宮こども園	保育教諭	赤松紀子
		社会福祉法人慈雲福祉会 認定こども園じょうせんこども園	保育教諭	春名佑美
		たつの市立揖保幼稚園	教諭	林美佳
		たつの市立龍野小学校	教諭	池田由紀
		たつの市立小宅小学校	教諭	松本敦子
		たつの市立西栗栖小学校	教諭	原久美子
		たつの市立新宮小学校	教諭	石堂裕
	事務局	たつの市教育委員会学校教育課	指導主事	岸本涼子
		たつの市こども未来部こども園推進課	主幹(兼) 指導主事	溝口佳子
平成29年度	実践協力校園	学識経験者 兵庫教育大学大学院	准教授	鈴木正敏
		たつの市立小宅保育所	主任保育士	三木久美子
		社会福祉法人栗栖の荘 香島保育園	保育士	宮本照己
		たつの市立新宮こども園	主任保育教諭	丸尾聰子
		社会福祉法人慈雲福祉会 認定こども園じょうせんこども園	保育教諭	落合恵里
		たつの市立小宅北幼稚園	教諭	熊橋絵美
		たつの市立揖保幼稚園	教諭	林美佳
		たつの市立小宅小学校	教諭	松本敦子
		たつの市立揖西小学校	教諭	古隅智子
		たつの市立新宮小学校	教諭	石堂裕
		たつの市立河内小学校	教諭	奥野純司
	事務局	たつの市教育委員会学校教育課	指導主事	岸本涼子
		たつの市こども未来部こども園推進課	主幹(兼) 指導主事	森脇育江

## 幼児・小学校教育接続期カリキュラム

発行年月日：平成30年3月

発行：たつの市こども未来部こども園推進課

〒679-4192

兵庫県たつの市龍野町富永1005番地1

電話：0791-64-3131（代）

FAX：0791-63-0863

